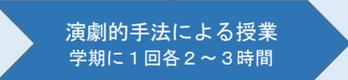


## 豊岡こうのとりのプラン ローカル&グローバル学習の時間 コミュニケーション教育の構想

### 1 目標

グローバルコミュニケーションスキルの獲得を見据え、性別や年代を超えて、対等な関係の中で自分を主張し、他者を理解できる基礎的なコミュニケーション能力の育成を目指す。

### 2 指導計画

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
指導区分	前期				中期			後期	
各指導区分における目指す学びの姿	◇“好きになる”“やってみる”“聴ける”子 ・興味を持つ、疑問を持つ、考えを持つ ・自分で試す、自分で決める、仲間と話し合う				◇“つながり”“伝えること”を意識できる子 ・話し合って考え、決める ・他者と協働して課題解決を目指す			◇“責任と可能性”を自覚する子 ・誰にどう伝えるのかを意識する ・協同的な活動を創り出す	
コミュニケーション教育									
									

### 3 指導内容等

#### (1) 演劇的手法による授業

- ①ねらい 小学校6年生と中学校1年生において、演劇的手法を取り入れたワークショップ型・双方向型のアクティブラーニングを用い、「合意形成」「協働」「多様性への理解」について体験的に学び、児童生徒の学習意欲や自尊感情を向上させることを目指す。
- ②実践 学期に1回各2～3時間程度の授業を学級担任が行う。年間指導計画表とプロ講師に作成協力をしてもらった6回分の学習指導案をもとにして、授業実践を通して指導のポイント等の精度を高めていく。

#### (2) めざすコミュニケーション能力の視点とその活動例一覧表

- ①ねらい 指導区分ごとに4つの視点（㊤他者認識と理解㊦他者認識を通しての自己認識と思考㊧集団形成と協調・協働㊨対話・身体表現等の活動を取り入れ正解のない課題に取り組む）について、9年間の全教育活動で実践し、コミュニケーション教育の目標の達成を目指す。
- ②実践 学級づくり・授業づくりにおいて一覧表にある視点を取り入れたり活動例をもとに活動を仕組んだりする。また、授業研究の際にも一覧表を活用し、学習指導案に子どもへの関わり方や活動の際の留意点等を落とし込み、教育効果を図る。